



令和八年度 於 大望月邸

第四回 大崎上島能

十月二十二日【木】午後五時二十分開演

能楽 菊慈童

主役に重要無形文化財保持者のシテ方観世流 川口晃平氏、小鼓には人間国宝の大倉源次郎氏、そして地頭には重要無形文化財保持者十四世林喜右衛門氏をお迎えし、能の上演会をいたします。

舞台装置や背景を使わない能舞台では「場」が大きな意味を持ちます。今回の演目は能楽の代表曲である「菊慈童（きくじどう）」です。

皆様には、瀬戸内海に浮かぶ大崎上島町の重要文化財である150年の歴史を持つ旧廻船問屋「御下屋」大望月邸にて、秋の風情を体感いただきます。

主催…一般社団法人AUST 共催…株式会社KASA

後援…大崎上島町教育委員会

会場・お問い合わせ…海と島の歴史資料館 大望月邸（月曜休館）

大崎上島町東野2721の1 電話…090・5120・5069

鑑賞料…事前にQRコードかお電話でお申し込みください。

ボックス席 S席 10000円 A席 5000円

一般席 2000円 18歳まで1000円



第四回
大崎上島能

十月二十二日（木）@大望月邸 十七時二十分始め 十八時五十五分終了予定

シテ方観世流能楽師 川口晃平
重要無形文化財保持者



囃子方大蔵流能楽師 大倉源次郎
人間国宝



シテ方観世流能楽師 十四世 林喜右衛門
重要無形文化財保持者



番組

お話

居囃子翁

翁

千歳

笛

小鼓

林 喜右衛門

笠田 祐樹

森田 保美

大倉 源次郎

お話

能 菊慈童

慈童

勅使

笛

小鼓

大鼓

太鼓

地頭

地謡

川口 晃平

岡 充

森田 保美

大倉 源次郎

上野 義雄

中田 一葉

林 喜右衛門

松野 浩行

樹下 千慧

笠田 祐樹

菊慈童 あらすじ

魏の文帝は、靈藥となる水が湧くという酈県山へ勅使を遣わします。山奥で出会ったのは、七百年もの昔、周の穆王に仕えた美しい少年・慈童。

王の枕をまたいだ罪でこの地へ流されたものの、枕に記されていた法華經の偈を菊の葉に書き写したことから、その露は靈藥となり、不老不死の身となったのでした。勅使の求めに応じた慈童は、菊の徳を称え、長寿の喜びを舞に表し、帝の御代と天下泰平を寿ぎながら、再び仙境へと姿を消します。

主催者ご挨拶

一般社団法人オーストは大崎上島町の指定文化財である旧廻船問屋、大望月邸(海と島の歴史資料館)の指定管理を委託されています。

「沈黙の艦隊」の作者、かわぐちかいじ氏のご長男である川口晃平氏（無形文化財保持者）とご縁があり2023年に第一回目の大崎上島能を大望月邸で開催しました。

四回目になる今年も人間国宝の大倉源次郎氏や無形文化財保持者の林喜右衛門氏、お囃子の演者も、含めて一流の能楽師10名が一同に会します。こんな贅沢な舞台は東京でも見ることはできません。この歴史のある大望月邸で、700年の伝統ある日本の芸能をぜひご堪能ください。

一般社団法人代表 AUST 長尾ひろみ